

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： 2023年8月15日
研究課題名： 頸動脈内膜剥離術・頸動脈ステント留置術による脳血行再建術周術期における高次脳機能の検討
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2025年3月31日
研究対象：当院において頸動脈内膜剥離術（CEA）および頸動脈ステント留置術（CAS）による脳血行再建術を受け、周術期に高次脳機能の評価を実施した患者
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（カルテ上に保存されている診療情報及び画像データ） 上記材料の対象期間 西暦 2018年4月～ 2025年3月
意義・目的： 脳梗塞などの虚血性脳血管障害に対して、再発予防を目的として脳血行再建術（頸動脈内膜剥離術：CEA、頸動脈ステント留置術：CAS）を行いますが、その周術期に運動機能や高次脳機能が変動することがあります。これらの病態は治療による脳循環動態の改善だけでなく、全身麻酔の有無、治療に伴う虚血性合併症や過灌流症候群などの複雑な病態が関与しています。本研究では CEA と CAS 術後早期の症例を対象として、治療法による高次脳機能の変化を明らかにすることを目的としています。
方法： 当院において治療を行った虚血性脳血管障害の患者で、CAS・CEA による治療を行う症例を対象とします。高次脳機能評価には、急性期・周術期でも比較的負担が少なく、短時間で施行可能な検査を採用します。認知機能検査として MoCA、非言語性認知機能評価として RCPM、KOHS、注意機能評価として TMT、PASAT、記憶機能評価として ROCFT、S-PA 等を想定しています。上記検査を治療前・治療後急性期（1週間以内）・慢性期（1～6ヶ月以内）に行い、CEA・CAS 周術期の高次脳機能の変動を抽出し、その差について解析を行います。 個人の特定が可能な情報については対応表を用いた匿名化により個人情報厳重に保護します。データと対応表はいずれもパスワードロックとし、診療外目的使用について拒否の申し出があった場合には、解析対象から除外します。その患者様の情報は利用いたしません。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 脳神経外科 上村和也（代表番号 029-851-3511）

